

第3回 小グループを作るためのトレーニング

進行係 伊藤みどり

アイスブレイク 呼ばれたい名前&今日の気分の色 15分

話し合いのグラドルール確認 3分

目標&今日の予定 2分

- 1, 会員と一緒にやりたい小グループを作るために必要なことを学ぶ
- 2, 一緒にグループを作る担い手としての私の役割を向上させる
- 3, 前2回のワークショップの実践 6段階について学ぶ

4, 進行方法 小グループを作るための6段階

●第1段階 小グループを作るための事前の準備

①何をしたいのか 事前に考えていてね 全体で20分 (一人1分)

例 広報担当 (かもす通信、SNS、ホームページ作成)

会員の管理とニーズの把握

財政健全化 (会計含む)

協同組合 おしゃべり会 手芸部 読書会、性と私を語る会

対話の土壌をかもすワークショップなど教材作りと講座企画

ホットラインと相談の分析と発信

アドボカシー (ニーズの把握と発信 週3日で生きさせろなど)

キャンペーン (最低賃金1500円、保育、介護、看護の賃上げ)

あなたのやりたいこと ()

②出し合ったものから 3つ選ぶ 全体で30分

会員の状況を踏まえて、

③どんな場所でどんな風に人を誘ったら良いか準備会議をする 20分

3グループに分かれる

一人誘う役割の人 誘われる人を選んでください

休憩 10分

全体 5分×3グループ

1グループ1人誘われる人選ぶ

●第2段階-紹介する

まず自己紹介をする。そして第1段階で選んだグループについて何故やりたいのか切り出す

3グループで

1人は、誘われる人 1人は誘う人 残りは観察者（助け舟）

●第3段階-基本的な情報を聞く- 前回の肯定的話し方を参考に相手の人の話を聞く どうしてACW2に入会して選んだグループにしたのか理解を深めるための質問（YES NOではない自由応答式質問）

●参加者で感想をシェア 5分

-----20分

全体 5分×3グループ 同じグループ

●第4段階-よく聞いて問題化する（相手を理解する）

相手が好きなことは何か 不満は何か見つける。不満や問題だと思っていることについて質問して問題は何か理解する

●第5段階-目標を立てる

例) 私たちが〇〇したら役に立てますか？

もし〇〇したら変えられると思いますか

私の知っている事例で〇〇という希望が持てることがありました。

私たちはこういう計画中ですが、一緒にやってみませんか

-----20分

●第6段階-行動に誘って一緒に行動する

- ・相手を理解して一緒にできることを考えて行動を考えてみましょう。 各自宿題

振り返り

一緒にやりたいと思いましたか？

20分

注意：もし一緒にできないという結論であったとしても、肯定的に今日、お会いできて良かったです。うれしかったです、楽しかったですという、相手をリスペクトする声掛けを意識的にまたの機会にタイミングが合えばとつなげていきましょう

<ワークショップの準備>

3, ①の事例を参考に、
やりたいことを1つ以上考えておいてください。
私のやりたい小グループは、
()

参考資料 耳は2つ 口は1つ 良い聞き手になるには

- ・ 気を散らさないこと。相手の目を見て、携帯電話はしまいましょう
- ・ 落ち着こう。私たちの脳は話すより4倍も早く考えることができます。対話の間に頭の中で足りない点を補ったり返答を考えて先回りするのは簡単です。でもこの衝動は抑えてください。今、相手が話していることに集中しましょう。
- ・ さえぎらないで、時間をかけて、話を全部聞きましょう
- ・ 心を開いたままで 相手の悩みはもうわかっていると決めつけないで、びっくりするような話が聞けますよ
- ・ 誘導しない。----と思いませんか? というような誘導質問はしない
- ・ 共感しよう---誰でも時には憂さ晴らしが必要です。邪魔してはいけません。今、やるべきは相手が言いたいことを聴くことであって判断することではありません。
- ・ 聴く姿勢をしめして---相手に反応して質問して、もしわからなければ質問すること
- ・ 共通点を探す。---すべての事について同意する必要はありません。しかし賛成できる点を探し、同意できない点は認め合しましょう
- ・ 何かを売り込まなくて大丈夫。--相手の考えを知り一緒に新しい何かを生み出したいと真剣に考えましょう

